

消防士インタビュー（県外出身・女性消防士）



松阪南消防署 救急隊 松本消防士

平成 30 年 4 月 1 日に採用され、3 年が経過し、消防署の生活についてインタビューしました。

・ 県外出身者の松本さんですが、なぜ松阪地区広域消防組合を選びましたか。

松阪地区広域消防組合では、救急救命士の職員が JICA 国際緊急援助隊医療チームに登録されており、わたしもその一員となり日本のみならず海外でも活躍できる消防士を目指したいと思い選びました。将来登録してもらえるよう日々勉強に励んでいます。

・ 県外で就職すること、知らない土地で生活することの不安はありませんでしたか。

県外で就職する事には不安がありましたが、就職して先輩や同期が気にかけてくれ、不安要素が少しずつなくなりました。今では、松阪消防に入ってよかったと思っています。

・ 松阪市に住んでみてどうですか。

松阪市周辺は自然豊かな街であり、食べ物が美味しく、県外にも行きやすい街です。松阪牛が全国的にも有名ですが、私は鳥焼肉が特に気に入っています！
また、名古屋市や大阪府へ、車・電車を使用し約 2 時間で行けるのでいろんな所へ行きやすいかと思います。

・消防という職に就いてみてどうですか。

採用される前は消防という職場は男性の職場なので人が怖そうなイメージでしたが、男性職員の皆さんは優しく、時には厳しく指導して頂き、毎日充実した勤務をさせて頂いています。松阪消防には現在 7 人の女性消防吏員がいますが、散歩したり、食事に行ったり、女性ならではの相談もしやすいため働きやすい職場環境だと思います。



・現場での活動はどうですか。

男性の力が必要な部分は男性職員に依頼し、わたし自身ができることを訓練及び現場の活動で行っています。

・どのような消防士になりたいですか。

人の心に寄り添い、どんな災害事案にも動じない心を持った救急隊員を目指して頑張りたいと思います。

男性の職場というイメージが強いですが、女性の目線が必要なことがあることも身に染みて感じており、女性消防士が増えていくこと望んでいます。

松阪地区広域消防組合消防本部では、女性消防士も募集しております。